



みなさんは他の人よりも何か取り柄のある人、優れたところがある人でありたいと思いませんか。

自己有用感を求める心

優れたところがあれば周囲から褒められる機会が増えます。そして褒められると気持ちが良いし、自己有用感も高まります。だからこそ、多くの人が何かで他の人より優れていたいと無意識のうちに思っているのではないのでしょうか。

時にそれは目標を設定し実現するために努力するエネルギーとなります。しかし、結果を得るにはエネルギーと時間が必要であり、努力を続ける強い意志と行動力が求められます。

しかし、その努力を面倒に感じる人が、相手を見下すことで、他の人より優れた自分を相対的に手っ取り早くつくりだす行為を選択することがあります。それは腕力を使うかもしれません。あるいは見下す言葉を使うかもしれません。行動に表さなくても心の中で見下す言葉をつぶやくかもしれません。このような安易な行為はいじめや差別であり、犯罪にもなり得ることです。

もしも、人より優れた何かを得たいのなら、そのために自分自身が変わる努力をしてください。他の人より優れた状態に達していなくても、その努力する過程を周囲が賞賛してくれるはずですよ。

気をつけなければならないことは、私たちは無意識のうちに他の人を見下している可能性があることです。障がいのある方が多数参加しているボランティア活動で、あるボランティアスタッフが心の中の変化を話してくれました。「私は障がいのある人を見下していたのではないかと思います。可哀想だから手助けしてあげようと思っていたのではないかと。でも参加して同じ人間なんだということに気付きました。」このように、私たちも自分の心を振り返ってみると気付かないうちに他の人をさげすんでいることがあります。

生まれながらにして、あらゆることに他者を尊重することができる理想の人物はそうはいないでしょう。幼子の振る舞いを見れば自分の感情を中心にした行動であることからそう考えられます。



他者を思いやる心は人と接する中で育ちます。もしも、自分の中の差別心に気付いたときは、そのときから考えを改め、行動を変えればよいのです。自分を責める必要はありません。気付いて変わろうとしている自分を認めてください。そして、人との関わりの中で自己有用感を感じてください。

校長 松川 明義



【行事予定】3月16日(木)：SPI模試(午前・国、数、英の順)、午後授業3時間

17日(金)：午前中授業、大掃除 午後合格者説明会

22日(水)：2年地元企業説明会(午前) 24日(金)：終業式

今週末の大会等：ボート全国選抜(静岡)

